



# 太平洋側 八雲地域



医療機関や商業施設などの  
都市機能も充実しています。

八雲地域は、平成17年に旧八雲町と旧熊石町が合併しましたが、旧八雲町は、尾張藩主徳川慶勝公が明治維新で禄を失った旧臣授産のために遊楽部（アイヌ語のユラップが語源）の官有地払い下げを願い出て、1878（明治11）年に家持15戸72人と単身者10人を移住させたことから本格的な開拓が始まりました。八雲という地名は、慶勝公が豊かで平和な理想郷建設を願って、古事記所載の和

歌「八雲立つ 出雲八重垣 妻籠みに 八重垣つくる その八重垣を」にちなんで名付けられました。道南北部地域の中心地域として、医療機関や商業施設などの都市機能がコンパクトに整備されたまちです。その一方、市街地から数キロ足を伸ばすと、サケの自然産卵や天然記念物のオジロワシやオオワシの飛来が観察できる、多様な自然と都市の利便性がほどよく共存するまちです。





役場庁舎



八雲総合病院



JR八雲駅



国道5号バイパス

0 100 200 300 400 500m

## 内浦湾 (噴火湾)



デイサービス



八雲小学校



温水プール



遊楽部公園



本町商店街

